



2020年5月13日

各 位

会 社 名 ラサ商事株式会社
代表者名 代表取締役社長 井村 周一
(コード：3023 東証第一部)
問合せ先 常務取締役管理本部長 窪田 義広
(TEL. 03-3668-8231)

(訂正・数値データ訂正)「2020年3月期 第2四半期決算短信[日本基準] (連結)」の一部訂正について

当社は、2019年10月31日に開示いたしました「2020年3月期 第2四半期決算短信[日本基準] (連結)」の一部を訂正いたしましたのでお知らせします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正の内容

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(2020年5月13日)付「過年度の有価証券報告書等の提出及び過年度の決算短信等の一部訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正の理由

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後の全文を添付し、訂正の箇所には____を付して表示しております。

以 上



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月31日

東

上場会社名 ラサ商事株式会社 上場取引所
 コード番号 3023 URL http://www.rasaco.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井村 周一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 兼 経理部長 (氏名) 窪田 義広 (TEL) 03(3668)8231
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (法人向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	13,708	△7.1	843	31.8	970	37.7	782	47.9
2019年3月期第2四半期	14,761	9.6	640	25.5	705	21.7	529	33.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 648百万円(29.9%) 2019年3月期第2四半期 499百万円(△0.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	67.46	—
2019年3月期第2四半期	42.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	29,617	16,068	54.3
2019年3月期	31,529	15,607	49.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 16,068百万円 2019年3月期 15,607百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	16.50	—	17.50	34.00
2020年3月期	—	19.00			
2020年3月期(予想)			—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	31,000	△2.4	1,950	△3.9	2,150	△5.0	1,610	△1.3
								138.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	12,910,000株	2019年3月期	12,910,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,283,137株	2019年3月期	1,318,450株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	11,603,153株	2019年3月期2Q	12,492,482株

(注) 役員向け株式交付信託が保有する当社株式が、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
3. 参考情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出を中心に弱さが続いているものの、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあり緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米国と中国の通商問題を巡る緊張の増大が世界経済に与える影響、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性など、先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもとで当社グループは、営業活動の積極的な展開に努めましたが、主に資源・金属素材関連で減収となったことを受けて、当第2四半期累計期間の売上高は137億8百万円となり、前年同四半期と比べ10億53百万円(△7.1%)の減収となりました。

営業利益は、売上は減収したもののプラント・設備工事関連が堅調であったことから8億43百万円となり、前年同四半期と比べ2億3百万円(31.8%)の増益となりました。

経常利益は、営業利益の増益などから9億70百万円となり、前年同四半期と比べ2億65百万円(37.7%)の増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券の売却益もあり7億82百万円となり、前年同四半期と比べ2億53百万円(47.9%)の増益となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の状況は、次のとおりです。

資源・金属素材関連では、ジルコンサンドがセラミックス市況での足踏み状態であることに加え、好調であった前期からの反動もあり、関連部門の売上高は37億84百万円となり、前年同四半期と比べ9億60百万円(△20.2%)の減収となりました。また、売上減少からセグメント利益は1億26百万円となり、前年同四半期と比べ62百万円(△33.1%)の減益となりました。

産機・建機関連では、民間の設備投資の弱さが続く中、各種ポンプの販売は概ね前期並みを維持したものの、前期堅調であった海外向けシールドの販売が今期は軟調に推移したことなどから、関連部門の売上高は36億37百万円となり、前年同四半期と比べ42百万円(△1.2%)の減収となりました。また、売上減収となったものの販売効率の改善等が見られたことからセグメント利益は1億83百万円となり、前年同四半期と比べ89百万円(94.6%)の増益となりました。

環境設備関連では、水砕製造設備の業績が好調だったため、関連部門の売上高は9億87百万円となり、前年同四半期と比べ1億64百万円(20.0%)の増収となりました。また、売上増収からセグメント利益は77百万円となり、前年同四半期と比べ6百万円(9.3%)の増益となりました。

プラント・設備工事関連では、比較的大型の工事完工が進んだことなどから、関連部門の売上高は22億35百万円となり、前年同四半期と比べ1億25百万円(5.9%)の増収となりました。また、売上増収からセグメント利益は3億円となり、前年同四半期と比べ1億64百万円(121.6%)の増益となりました。

化成品関連では、自動車関連製品の競合が厳しい状況が続いており、また電線業界向け合成樹脂の需要が大きく落ち込んでいることから、関連部門の売上高は29億63百万円となり、前年同四半期と比べ3億29百万円(△10.0%)の減収となりました。また、売上減収からセグメント利益は60百万円となり、前年同四半期と比べ12百万円(△16.7%)の減益となりました。

不動産賃貸関連では、賃貸物件のリバランスによる高付加価値化が寄与し、関連部門の売上高は1億76百万円となり、前年同四半期と比べ5百万円(3.0%)の増収となりました。また、買換えに伴う経費の減少からセグメント利益は95百万円となり、前年同四半期と比べ17百万円(23.1%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は296億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億11百万円の減少となりました。

(流動資産)

流動資産は176億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億62百万円の減少となりました。

これは主に、現金及び預金で9億54百万円の増加があった一方で、受取手形及び売掛金で10億78百万円、完成工事未収入金で12億7百万円の減少があったことによるものです。

(固定資産)

固定資産は119億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億48百万円の減少となりました。

これは主に、投資有価証券で2億81百万円、保険積立金で51百万円の減少があったことによるものです。

(流動負債)

流動負債は92億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億4百万円の減少となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金で10億30百万円、短期借入金で10億29百万円の減少があったことによるものです。

(固定負債)

固定負債は43億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円の増加となりました。

これは主に、長期借入金で52百万円の増加があった一方で、退職給付に係る負債で12百万円の減少があったことによるものです。

(純資産)

純資産は160億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億60百万円の増加となりました。

これは主に、剰余金の配当が2億8百万円、その他有価証券評価差額金で1億30百万円の減少があった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益7億82百万円を計上したこと等により増加したものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は42億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億54百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により発生した資金は22億98百万円の増加となりました。(前年同四半期は2億50百万円の減少)

これは主に、仕入債務の減少13億37百万円、法人税等の支払4億57百万円等による資金の減少がありましたが、税金等調整前四半期純利益11億40百万円、売上債権の減少25億71百万円等により資金が増加したものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により発生した資金は3億69百万円の増加となりました。(前年同四半期は3億57百万円の増加)

これは主に、投資有価証券の売却による収入3億20百万円等により資金が増加したものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により発生した資金は17億14百万円の減少となりました。(前年同四半期は6億49百万円の減少)

これは主に、短期借入金の返済10億29百万円(純額)、長期借入金の返済8億26百万円等により資金が減少したものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2019年9月13日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,315	4,269
受取手形及び売掛金	7,559	6,480
電子記録債権	1,647	1,362
完成工事未収入金	1,902	694
商品及び製品	2,956	2,442
未成工事支出金	1,504	2,279
原材料及び貯蔵品	8	7
その他	374	160
貸倒引当金	△13	△7
流動資産合計	19,253	17,690
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,435	4,434
減価償却累計額	△2,430	△2,487
建物及び構築物（純額）	2,004	1,947
機械装置及び運搬具	425	436
減価償却累計額	△365	△376
機械装置及び運搬具（純額）	59	60
土地	6,006	6,006
その他	1,616	1,621
減価償却累計額	△1,539	△1,551
その他（純額）	76	69
有形固定資産合計	8,147	8,083
無形固定資産		
ソフトウェア	35	27
ソフトウェア仮勘定	81	82
その他	0	0
無形固定資産合計	117	110
投資その他の資産		
投資有価証券	3,071	2,789
繰延税金資産	72	131
保険積立金	688	636
その他	186	181
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	4,010	3,732
固定資産合計	12,276	11,927
資産合計	31,529	29,617

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,350	3,319
電子記録債務	969	638
工事未払金	374	397
短期借入金	2,999	1,970
1年内返済予定の長期借入金	1,160	629
未払法人税等	511	391
賞与引当金	337	307
その他	906	1,550
流動負債合計	11,610	9,205
固定負債		
長期借入金	3,647	3,700
繰延税金負債	303	303
退職給付に係る負債	85	72
役員株式給付引当金	49	50
その他	227	217
固定負債合計	4,312	4,344
負債合計	15,922	13,549
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,076	2,076
資本剰余金	2,378	2,373
利益剰余金	11,957	12,531
自己株式	△1,037	△1,012
株主資本合計	15,374	15,969
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	236	106
繰延ヘッジ損益	△4	△8
その他の包括利益累計額合計	232	98
純資産合計	15,607	16,068
負債純資産合計	31,529	29,617

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	14,761	13,708
売上原価	12,099	10,867
売上総利益	2,662	2,840
販売費及び一般管理費	2,022	1,996
営業利益	640	843
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	26	26
受取家賃	21	20
保険解約益	9	33
持分法による投資利益	42	65
その他	12	17
営業外収益合計	111	164
営業外費用		
支払利息	17	17
保険解約損	20	17
その他	8	1
営業外費用合計	46	37
経常利益	705	970
特別利益		
固定資産売却益	75	—
投資有価証券売却益	—	180
特別利益合計	75	180
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券売却損	—	9
会員権売却損	—	0
特別損失合計	0	10
税金等調整前四半期純利益	779	1,140
法人税等	250	358
四半期純利益	529	782
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	529	782

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	529	782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30	△130
繰延ヘッジ損益	0	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	△29	△133
四半期包括利益	499	648
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	499	648
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	779	1,140
減価償却費	95	90
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△14	△12
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△0	△30
受取利息及び受取配当金	△27	△26
支払利息及び社債利息	17	17
持分法による投資損益 (△は益)	△42	△65
固定資産除売却損益 (△は益)	△74	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△170
売上債権の増減額 (△は増加)	903	2,571
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,254	△261
未収入金の増減額 (△は増加)	19	61
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△67	170
仕入債務の増減額 (△は減少)	△72	△1,337
未払金の増減額 (△は減少)	△19	△10
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△31	17
前受金の増減額 (△は減少)	△119	△28
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	44	669
その他	△6	△59
小計	130	2,736
利息及び配当金の受取額	37	37
利息の支払額	△17	△17
法人税等の支払額	△401	△457
営業活動によるキャッシュ・フロー	△250	2,298
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△25	△18
有形固定資産の売却による収入	401	—
無形固定資産の取得による支出	△21	△1
投資有価証券の売却による収入	—	320
保険積立金の積立による支出	△110	△160
保険積立金の払戻による収入	122	230
その他	△9	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	357	369
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	252	△1,029
長期借入れによる収入	—	347
長期借入金の返済による支出	△672	△826
自己株式の処分による収入	7	8
配当金の支払額	△231	△208
その他	△5	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△649	△1,714
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△542	954
現金及び現金同等物の期首残高	4,249	3,315
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,707	4,269

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	プラント ・設備 工事関連	化成品 関連	不動産 賃貸関連	
売上高							
外部顧客への売上高	4,745	3,679	822	2,110	3,292	110	14,761
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	0	—	—	—	60	61
計	4,745	3,680	822	2,110	3,292	171	14,823
セグメント利益	189	94	70	135	72	77	640

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	640
セグメント間取引消去	0
その他	0
四半期連結損益計算書の営業利益	640

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	プラント ・設備 工事関連	化成品 関連	不動産 賃貸関連	
売上高							
外部顧客への売上高	3,784	3,637	987	2,219	2,963	116	13,708
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	0	—	16	—	60	77
計	3,784	3,637	987	2,235	2,963	176	13,786
セグメント利益	126	183	77	300	60	95	843

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	843
セグメント間取引消去	—
その他	0
四半期連結損益計算書の営業利益	843

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 参考情報

個別業績の概要

(百万円未満切捨て)

2020年3月期第2四半期の個別業績(2019年4月1日～2020年9月30日)

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	8,409	△9.1	387	9.3	462	16.4	432	62.5
2019年3月期第2四半期	9,248	10.2	354	10.8	397	8.5	266	9.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	36.99	—
2019年3月期第2四半期	21.15	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	17,943	12,828	71.5
2019年3月期	20,241	12,710	62.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 12,828百万円 2019年3月期 12,710百万円